

第 24 回茅野市新地域公共交通検討会議

開催日時	令和 5 年 5 月 15 日 (月) 午後 6 時 30 分から午後 8 時 20 分		
開催場所	茅野市役所 8 階大ホール		
公開・非公開の別	(公開)・非公開	傍聴者の数	5 人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容 (概要)		
事務局	<p>第 24 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催。詳細は下記のとおりです。</p> <p>1 開会</p> <p>みなさまこんばんは。一日のお疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、只今から、第 24 回茅野市新地域公共交通検討会議を開催いたします。スムーズな進行に努めさせていただきますので、ご理解ご協力をお願いいたします。</p> <p>はじめに、会長挨拶、篠原会長お願いします。</p>		
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>本日もよろしく願いいたします。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。5 月 8 日にコロナが 2 類から 5 類にかわった中で開催をさせていただきました。我々の取り組みがかなり先進的なものであると思います。地域交通は、それぞれの市町村の、スケール面積もありますし、どういう計画で進めていくのかが重要であると思います。この町の理想的な公共交通を考える中では、やはりこの町を十分理解した上で作らなければいけないということだと思えます。ぜひ皆様方のそれぞれのご意見を、お聞かせをいただいて、素晴らしいものを作って参りたいと思います。よろしく願いいたします。</p>		
事務局	<p>ありがとうございました。議事に入る前に、5 名の新しい委員の方について紹介させていただきます。地域住民代表としまして、29 番長野県諏訪建設事務所企画幹兼維持管理課長の池田誠様、31 番長野県茅野警察署交通課交通係長の川口寛様、34 番国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局首席運輸企画専門官の山岸康範様、36 番東海大学付属諏訪高等学校 PTA 副会長の中山順子様、37 番長野県茅野高等学校 PTA 副会長の日向寿恵様、でございます。よろしく願いいたします。それでは、3 の報告事項等に入ります。</p> <p>項目としては、</p> <p>(1) AI 乗合オンデマンド交通「のらざあ」の運行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行状況等について <p>(2) 通学通勤バスの運行について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行状況について <p>(3) 外出支援ワーキンググループからの報告です。</p>		
会長	<p>それでは、篠原会長、議事進行、よろしく願いいたします。</p> <p>3 報告事項等</p>		

	<p>それでは報告事項等に入ります。</p> <p>(1) AI 乗合オンデマンド交通「のらざあ」の運行状況等について、運行支援をしている株式会社地域総合計画から、検証結果および今後の見通し等ご意見をお願いします。</p>
地域総合計画担当者	<p>別紙資料 1 に基づき説明。利用者数や年代別利用者数について説明。予約件数は 2 万 8 千件以上ということです。電話予約については、年代が上がるにしたがって増えている状況。予約不成立については総予約数に対して 24%になります。特に午前 11 時の時間帯の不成立の割合が高い状況です。平日の利用者数は平均 173 名、休日で平均 69 人となっていると説明。</p>
会長	<p>ここでご意見等あればお願いしたいと思います。ある方は挙手をお願いします。</p>
委員	<p>乗合率について教えてほしい。ドライバーの感覚として、1 日 15 から 16 回乗る中で、5 回から 6 回が乗合となっている。資料に記載されている 50 パーセントの乗合率の理由をお教えいただきたい。</p>
地域総合計画担当者	<p>ありがとうございます。乗合件数が 5 件程度ということになりますと、15 回の乗車で考えると、比率としては 30%ということになります。そうした場合、乗合のグループ数といたしましては、15 回の中で、その 5 回の乗合予約ができていないことになります。1 日 15 件の移動の中で、単独で乗車していただいた方は、10 回、乗合になったグループは 5 グループなので、乗車回数としては 10 回になります。分母を 20 回とした場合に、乗合乗車回数が 10 回になるため、乗合率を 50 パーセントにしています。</p>
委員	<p>年齢別の登録者で不明とはどういう意味ですか。</p>
地域総合計画担当者	<p>登録者に対して生年月日登録をしていない方については、年齢不詳としております。</p>
委員	<p>それは任意の入力でしょうか。</p>
地域総合計画担当者	<p>コールセンターでの登録については必ず生年月日を確認していますが、アプリ上では、そこをスキップしてしまうという可能性もありますので、登録されていないということになります。</p>
委員	<p>予約の不成立についてはどのようなものかお教えてください。</p>
システム担当者	<p>予約不成立については、申込んだ時に 8 時に予約したいが 8 時 20 分の配車なら可能で、それならいいやということで予約しなかった方と、そもそも配車が満車でできなかったというパターンになります。</p>
委員	<p>登録が 8000 件等になっていますが、固定電話となった場合には一つの番号で複数の登録はできないということですか。</p>

システム担当者	現状、一つの電話番号で複数の予約はできない。何か補足するような情報を加えることで利用者を分けることができないか協議を進めています。
委員	電話番号は何桁まで登録できますか。
システム担当者	11桁までの登録ができるので自宅の電話番号登録も可能です。
委員	利用粒度について教えてください。一番利用頻度が高い移動距離別のデータの抽出をすることは可能ですか。
地域総合計画担当者	抽出は可能ですので次回の会議でご提示させていただきます。
会長	ありがとうございました。 次に、(2) 通学通勤バスの運行状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局	通学通勤バスの運行状況について別紙資料に基づき説明。
会長	ここでご意見等あればお願いしたいと思います。ある方は挙手をお願いします。
会長	ありがとうございました。 次に、(3)福祉21から、外出支援ワーキンググループからの報告について福祉21茅野代表幹事である高木先生から説明をお願いします。
副会長	福祉21茅野ワーキンググループから報告させていただきます。市内にお住いの障害をお持ちの方3000人に対してアンケート調査を実施します。個別の状況やニーズをつかむことも難しく解決策を提案することも難しい状況ですが、引き続き検討していきたいと思います。
会長	福祉交通と教育については非常に大切だと思いますので引き続きよろしく願いいたします。
会長	ワークショップについて 今後の公共交通の在り方について、のらぎあの乗合率向上とアプリ予約の普及についてワークショップを行いたいと思います。 事務局から説明をお願いします。
事務局	ワークショップの課題共有について資料に基づき説明。のらぎあ導入前の課題、のらぎあの導入、導入後の課題について共有し、ワークショップにて議論していただきたいと説明。 乗合率の向上・普及とアプリ予約をどのように普及させることができるかについてご検討をお願いいたします。
会長	ありがとうございました。

市長

事務局の説明の中で「観光地域の住民の確保」について説明がございましたが、市長から何か補足はございますでしょうか。

改めましてこんばんは。これからもう4年間茅野市の舵取りをさせていただくということで改めて、よろしくお願いたします。

もうひとつ、新地域公共交通検討会議が発足して3年近く経過しております。皆様本当にありがとうございます。新しい公共交通ができつつあるということで進んでおり、大変感謝申し上げます。のらぎあにおいては、アプリ予約等の機能を100%発揮する中での運用を行っている状況ではございません。既存の運行事業者様へのリスペクトをさせていただく中で、協議を重ね、現在の機能となっております。選挙活動の中でも、のらぎあについて、非常にいいという声を伺っております。茅野市は国勢調査において、インターネットで回答している率が非常に高く、前回、前々回と国から表彰されています。ですから、こうした新しい、技術というものを使いこなせる市民の皆さんが多いということは、もともと感じていたところですが、アプリ予約が全体予約の約43パーセントということで非常に高く、可能性を感じているところでございます。

そうした中で、予約が取れなかったとか、行き会えなかったという問い合わせは非常に多いという状況は私も伺っております。乗合率を高めることが利用者を高めることにもつながると思います。地元の地区の総会に出席した際も、ぜひとも勉強会をすれば使うからという声をいただいております。今後、説明会等も順次開催していきたいと考えています。

お買い物に行く際にも乗合で買い物に行くというような使い方もいいのではないかと考えています。ここがダメということに耳が行きがちであります。一方でいいよという声もいただいております。

北山地域の皆様からは蓼科までは延伸してほしいという声もいただいております。いただいたご意見については、しっかりと形にしていかなくていけないと思っています。今後はのらぎあだけではなく、通勤通学バスとも一緒になって考えていく必要があると思います。駅に降りた方が公共交通をどのように使うのかということは非常に大切であると思います。公共交通の整備と電車の時間に合うような形での通勤通学バスが使えると思います。今ある課題については、昼間の移動の手段を高齢者の方に提供する必要があると考えています。市民の方もそうでない方も利用できるようなものをサービスとして提供できればなど考えています。

日本の好事例を茅野市から発信していきたいと思っております。ありがとうございました。

会長

それでは事務局からワークショップの説明をお願いいたします。

事務局

事務局から説明

- ・ワークショップの時間（最大30分を想定）
- ・ワークショップの目的について

本格運行開始から約8か月を経過して、運行上の課題が出てきている。中でも、予約不成立件数の解消に向けて、課題解決に寄与する対策として、乗合率及びアプリ予約の普及をテーマとした。

- ・ワークショップの進め方について

	<p>グループ毎に2つのテーマを自由に話ししてグループとしての考えをまとめてもらおう。必ずしも結論を一つにする必要はない。</p> <p>・ワークショップ後の展開について</p> <p>出た意見をとりまとめ、次回の検討会で方向性を固めていきたい。</p>
A グループ	別紙のとおり。
B グループ	別紙のとおり。
C グループ	別紙のとおり。
D グループ	別紙のとおり。
E グループ	別紙のとおり。
F グループ	別紙のとおり。
会長	<p>5 その他</p> <p>事務局から連絡事項等があればお願いします。</p>
事務局	<p>アプリ予約での特典を設けるという話や利用者やドライバーから意見を賜るといようなご意見を出していただきありがとうございました。</p> <p>次回の検討会議でございますが、5月に開催する方向で調整します。ご予定をお願いいたします。</p>
会長	それでは事務局にお返しいたします。
事務局	それでは閉会の言葉を副会長からお願いします。
副会長	<p>長時間にわたり、ご意見を出していただきありがとうございました。しっかりデータを取り、対策をとることが大切だと感じました。8000人のうち、約7000人が市内の方ということであれば市民の方の約1割になります。それをもっと増やしていく、または、実際に使ってみた方にのらぎあを使ったことによる好体験をしていただくことと、障害者の方も使えるようなビジネスモデルを作っていきたいと思えます。30代40代50代の方が多いいのは、とりあえずダウンロードっていう形が多かったかなと思います。</p> <p>安心して出かけられていたような体験を作っていただくことで、次第に車を使わないで、のらぎあを使おうという方が増えてくればと思います。</p> <p>そうならば、私に関わっております福祉の分野でも、障害の方がより多く使ってくださいと周知できると思います。</p> <p>一方、業者の皆さん心配する採算ベースがきちんと取れていくことでビジネスとして成り立つという証明を必要であると思えます。引き続きのご協力をお願いいたします。</p> <p>本日は長時間どうもありがとうございました。</p>

以上